



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)7月5日号 No.1731

目次

■ ロシアの工業団地・経済特区ランキング	1
■ エトセトラ	5
ロシアビジネスセミナーin京都—資源・環境ビジネスの可能性—/5	
■ 統計速報	6
2017年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績/6	
2017年1～5月の日ロ貿易/7	
■ トピックス	8
クラリオン(株)がロシアで自動車部品事業強化へ/8	
商船三井がLNG船の長期定期貸船契約/9	
日ロ共同経済活動、法的枠組み整備に課題/9	

ロシアの工業団地・経済特区ランキング

はじめに

ロシアのエキスパート誌がこのほど、工業団地と経済特区の全国総合ランキングを発表したので、本速報ではそのランキング概要をお伝えする。2016年にロシア工業団地協会が700件以上のプロジェクト情報を収集し、国の基準に沿った稼働中の約100カ所に対しアンケート調査を行い、そのデータと公開情報を元にエキスパート誌がランキングを作成した。①運営サービス、②立地、③諸要素のコスト、④優遇措置、⑤入居企業への対応、⑥地域指数からなる6つのグループに分かれた、計29の評価指数による得点を合算してランキング付けがなされ、全部で76カ所の工業団地・経済特区・テクノパークがランクインしている。ランクはAA～Cの5つに分かれ、AAランクが「投資家にとって最大限に魅力的」、Aランクが「有能で魅力的だが、固定費が高くつく、優遇措置や交通・輸送インフラの不足など制限がある」、BBランクが「十分に魅力的だがサービス・インフラ面で改善の余地がある」、Bランクが「魅力は中の下レベルだが発展途上にある、あるいはインフラが整っておらず真剣な改善がなされなければ投資を呼び込めない」、Cランクが「交通・輸送インフラがなく、開発の進んでいない土地にある、優遇措置がないなどあまり魅力のない」工業団地・経済特区・テクノパークとなっている。

このような工業団地・経済特区の全国総合ランキングが発表されるのは初めてであり、ロシアビジネスに関わる方々にとって有意義な情報となるだろう。